



優勝し全国大会出場を決めた中島有美さんは常総市水海道亀岡町の県立水海道一高亀陵会館

中島さんは「過去から未来を見つめ」と題して7分間の持ち時間で弁論。「歴史が好きで昔の生活に興味があった」と話すように先月、母親と江戸・東京の400年の歴史を

中島さんは「過去から未来を見つめ」と題して7分間の持ち時間で弁論。『現代の生活スタイルとの違いを指摘しながら、節電への提言を行った。

「大震災や原発事故で生活が変わった。節

館を訪れた感動を基に、現代の生活スタイルとの違いを指摘しながら、節電への提言を行った。

「大震災や原発事故で古民家にならって天井が高くて通気のいい

自らテーマを考え、社会的な視野に立つて意見を論じる「亀陵杯近隣中学校弁論大会」(県高校弁論連盟主催)が20日、常総市水海道亀岡町の県立水海道一高亀陵会館で開かれ、12人の参加中学生の中で、つばみらい市立谷和原中3年の中島有美さんが優勝を果たした。中島さんは11月、札幌市で開催される文部科学大臣杯全国青年弁論大会に出場する。

## 中島さん(谷和原) 優勝 亀陵杯 中学校弁論 11月、全国大会へ

とも指摘した。

審査委員長で県高校弁論連盟理事の岡部和也教諭(県立太田一高)は「独自の主張で提案も交え、高校生に匹敵するくらいのレベルだった。弁論は日常生活からつながると知恵に倣つて自然をうまくエネルギーに利用しよう」と提言。「もう一度原点に返ってみては?」「もう一度元気な日本を取り戻そう!」と訴えた。

受賞後、「夏休み中取り組んだので、優勝はとてもうれしい」と笑顔の中島さん。「先輩が出来ていたので出てみたかった。人前

会場となつた水海道一高の弁論部の生徒が実行委員会を設置して、司会進行や時計記録、審査集計などを行つた。

(高畠和弘)

ほか上位入賞者は次の通り(敬称略)。

▽準優勝常総市長賞  
陳嘉辰(つくば市立竹園東中3年)▽3位(同)教育長賞  
松崎汐那(同)▽4位

▽優勝常総市長賞  
長谷川真保(常総市立水海道中3年)  
▽5位(県高校弁論連盟頭賞)

河野靖子(つくば市立竹園東中3年)  
今のが不可欠だ